

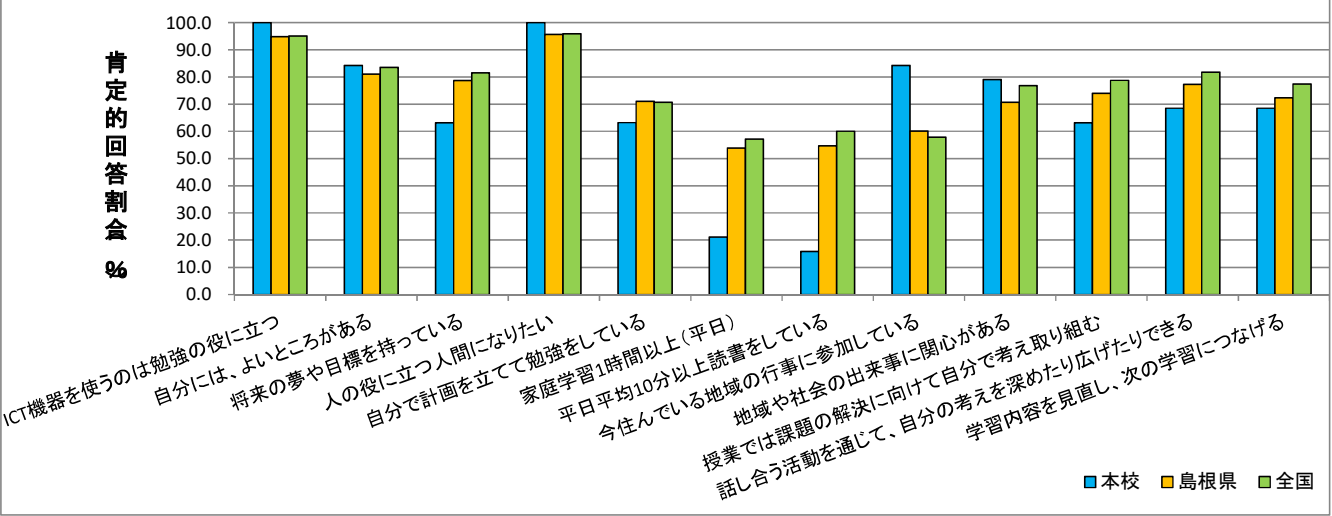
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○漢字やかっこの穴埋めなど文章を読み取ることはできる。 ●条件に合わせて自分の言葉にまとめてくこと、順序立てて論理的に書くこと等は苦手としている。	・自分の考えを効果的に伝える書き方や、条件に合わせた作文に取り組む学習などを充実させる。
算数	○基本的内容は理解が進んでいる。 ●問われ方によって答え方がわからなかったり、長文問題には無答だったりする児童が見られた。問題にある図形がイメージできないため、回答まで辿りつかない。	・朝学習などの時間を活用し、過去問(特に応用問題)に取り組みせ、考え方の説明をする学習を取り入れる。

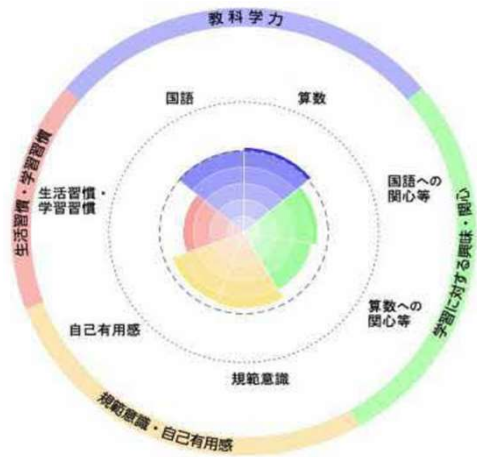
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○「地域行事に参加する」の割合が高く、地域に関心をもっていることわかる。 ○「自分にはよいところがある」「良さを求めている」とほぼ全員が回答し、自尊感情が高く満足度が高い。 ●家庭学習が1時間を超える児童や読書時間が短い児童の割合が高い。	・学校での読書の機会を増やし読書への関心を高めるための手立てを取る。 ・定期的な書き取り・計算会の実施とそれを周知することで家庭学習に目的意識をもたせ、計画的に取り組むことができるようする。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・学習内容の理解はできているが、学習や生活をよくしようという関心・意欲が低い。生活課題や学校行事などの課題を話し合う機会を意図的に設け、そこから自分の課題解決を図る力の育成につなげる。

【受検者数】
18 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。